

放射線透過試験 (RT)

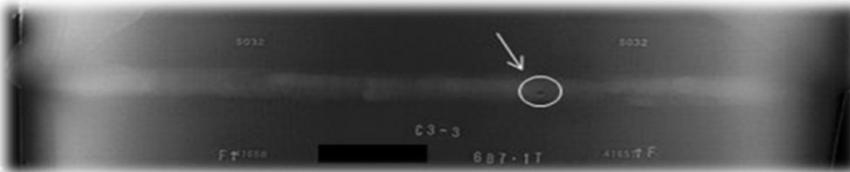


エックス線装置

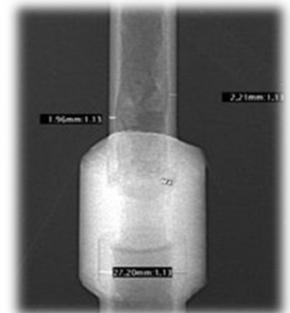


二重壁片面撮影方法

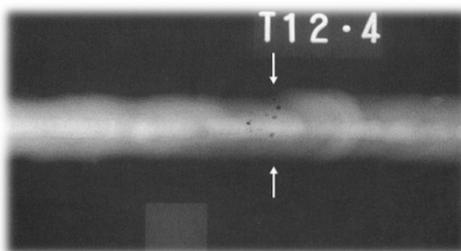
放射線透過試験(RT:Radiographic Testing)は溶接部等の内部きずの検出、コンクリート構造物の内部調査、鉄鋼材料の内在きずの検出などに広く利用されています。
工業用透過試験としてよく利用される放射線を試験体に照射した場合、試験体を通過する間に放射線強度が低下し、きずのある部分とそれ以外の部分では放射線の透過率が異なり、フィルム上でコントラスト(濃度差)として現れます。



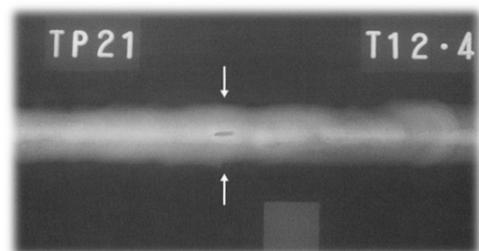
X線透過写真 二重壁片面撮影法による溶接部写真



γ線透過写真 配管減肉部



ブローホール



パイプ

特長

- 内部きずの検出が可能
- 減肉部、スケール詰り等の内部状況の可視化
- 幅広い検査対象(金属・コンクリート)
- デジタルデータ化による画像処理及びデータ管理

適用

- 検査対象物:鉄鋼材料の内部確認(材料、溶接部)
- 配管・機器の減肉検査
- 配管の内部状況確認
- コンクリート構造物の内部状況確認